

## コロナ禍後の唐津観光交流まちづくりを見据えて

### 1. 予期せず襲来の災禍を乗り越えた先

観光産業のみならず、今日の経済構造、社会情勢を大きく揺るがす新型コロナウイルスへ唐津観光協会が対処できることは、日常的な業務空間を安心・安全な衛生環境に保ち、健康な職員が正確な情報を受発信し、商品／サービスを提供し続けることです。東京オリンピック 2020 が延期されたように、国際社会、国家の方針により人の移動が広く、そして厳しく制限されるなか、従来型の観光業、旅行業は新型コロナウイルス禍の小康化を待つ以外にないとも言えます。

こうした状況に加え、唐津観光協会は財政的にも厳しい局面を迎えています。唐津市からは補助金が大きく減額される方針が打ち出され、今後の財源確保が最大の懸案となっています。このことは自主財源の獲得を迫られることと同時に、観光協会が担ってきた業務内容の見直しを迫られ、組織体制、陣容の再構築をも視野に入れた大変革に向き合うことでもあります。

令和3年度から事業補助金は半減となり、運営補助金はゼロとなることが示されています。新年度の令和2年は経過措置として、事業補助金は従前がほぼ担保されたものの運営補助金は三分の二となったなかで組織運営を切り盛りすることとなります。

こうした状況から、唐津観光協会の新規事業は皆無状態となり、旧来の継続事業だけが残る計画になっています。社会構図の変容に伴い観光交流まちづくりの要諦も大きく様変わりしているなかで協会が実施する事業や遂行方法の刷新はままならず、新たな顧客開発へ向けた取り組みは着手する余地すらありません。これを打開し、活路を見出していくには、志を同じくし、メリットを共有できる外部との有為な連携を強めていくことが先ずは挙げられるでしょう。

### 2. 「唐津観光デザイン会議」が唐津商工会議所内に発足

からつ観光協議会が活動を停止し丸2年。地域一丸の観光振興はスローガンとして掲げられたものの次の段階へ組織活動を進めることはできていません。業種業態ごと、地域ごとの組織、団体はさまざまな事業を計画し実施してはいますが、戦略ベクトルを揃えない五月雨式の活動に地域単位の成果を見出すことはむずかしいのが実情です。からつ観光協議会の一員である観光協会としては、観光地域経営に今一度風穴を開けようと組織された唐津商工会議所・唐津観光デザイン会議と協働し、自らの存在基盤を再点検し、社会の要請に応え得る活路を今一度見出すべく努めます。

市街地活性化を目的とした商業施設、若い移住者たちが中心となり推進する交流喚起型施設や催事などでは、その活用や集客の方法について広く情報収集し、ユーザー目線を取り込んで、唐津にこれまで希薄であった新味や勢いを得ています。そうしたマーケットイン寄りの視点が観光面においても唐津広域に及ぶことは望ましく、日々成果を実感できる範囲で戦略を戦術として発芽させ、地域経営の戦略態勢を一步ずつ前進させていくことが実利を導きます。

唐津観光協会や唐津観光デザイン会議はこうした集客拠点や集客事業を具体の実践場として結び、マーケットへ押し出し、また異なる事業体に密度の高い施策連携を働き掛けることによって情報受発信、機会創出を導いていきます。DMO が標榜するプラットフォームに近似する活動となります。

### 3. 唐津のツーリズム基盤を変革するために

観光庁の推進してきた官製「日本版DMO」が令和2年に制度変更します。「登録DMO」と呼称を改め、認定基準を厳格化するものです。2015年11月の制度開始から2020年1月までに「日本版DMO」は候補を含め267団体を数え、地域統率力、組織の機動力など玉石混交の様相を呈しています。国際観光旅客税（出国税）により年間約500億円の新たな税収を見込み、これをわが国の観光施策へ投ずるにあたり、観光庁の考える理想形の取組みに対し重点的に予算を配分していこうとするものです。ふるいにかけて残す「登録DMO」にわが国の観光の現場を急進的に革新させようという狙いが見て取れます。

ただ制度創設にあたり、海外の仕組みに倣おうとする意見を過度に酌むあまり、わが国観光の現状から遠いものになるとの観測は根強くあります。実情から大きく乖離しているものの一つが財源確保に関わる議論です。安定した財源収入に裏打ちされ、複数年にわたる施策や事業を行なう欧米のDMOと、ひも付き補助金を単年度で消化するよう習慣づけられたわが国の伝統的観光組織とを一律に比較することに無理があることを、日本の多くの関係者が指摘するところです。しかしながら、観光庁が2020年4月15日施行したガイドラインに示すのは、あえて日本の現状を劇的に変革させようという意思を感じさせる制度です。

他方、こうした変革気運の影響の一つとして捉えられそうなのが、宿泊税の導入や入湯税のかさ上げ分を安定財源に充てようとする動きが日本の各所でみられるようになったことです。基金条例を合わせて整備し、その使途を観光プラットフォームの安定財源に充てることにし、従前の観光行政とはスタンスを変えた地域の観光戦略を遂行していく組織構築がかすかに見えてはいます。従来の構図の中に没してしまわない観光まちづくり組織の動きが始まっています。

今後、存続可能な唐津観光協会の組織像、事業内容、安定財源に関しては、こうした流れをよく把握し、手法を研究し、適切かつ果断に措置していくことが急がれます。

### 4. 組織形態

- ・指揮系統：一元性と情報伝達性
- ・情報と人材網の組織内ストック：センターオフィスへの人材集約と強靱化
- ・唐津商工会議所と協働：情報収集と多様な再構築、プロジェクト発動や支援

### 5. 組織運営

- ・職員の役務分掌：職能に見合う俸給制度、兼業の薦め、複眼思考によるアイデア力と行動力
- ・組織横断的な能力活用：プロジェクト推進状況に応じたフレックスな人員配置
- ・外部人材ネットワーク：可変的組み合わせによる組織力アップ、時流への適合

### 6. 事業構成

- ・既存事業の徹底見直し：制作物の統廃合、ウェブマーケティングの強化、新規事業の研究
- ・事業推進上の管理：生産管理、工程管理、品質管理、情報管理、連携管理、労務管理

## 【 事 業 内 容 】

### 1 情報発信事業 【継続事業1・2】

#### (1) 旅行者への集客プロモーション等

魅力ある観光地として、“唐津ならではの”の風情や特性を引き立たせ、地域との連携を強化します。このことにより、他地域との差別化を図り、旅行潜在客の適地選定にアピールします。

なお従来型の、旅行会社訪問営業や各地での宣伝プロモーションは展開先を厳選して行い、WEBを活用する情報伝達へ今後は重心をシフトしていきます。

#### ① 佐賀県観光連盟と連携したプロモーション

各地都市における観光PR及び説明会

#### ② 九州観光推進機構と連携したプロモーション

観光素材説明会 広島／大阪／東京

#### ③ インバウンド

クルーズ船 船主、旅行会社等

国 外 等 旅行会社、福岡観光コンベンションビューロー等

国 内 旅行会社、SNSインフルエンサー等

#### ④ 情報発信方法【情報発信の戦略、戦術を練り将来に向けた有効な発信】

福岡コンベンションビューロー等福岡エリアに強い発信媒体等を活用し、唐津PR広告を打ち出すことで観光集客を目指します

#### ⑤ 特産品及び観光地PR

イベント等での唐津特産品とその生産風景を一体表現し宣伝します

#### ⑥ 地域重点強化

##### a. 媒体等を精査した唐津PR

レアニッポンWEB版等で唐津PRを掲載し観光集客増加を目指します

##### b. 地域活性に繋がる情報発信ツール

自動車を活用し情報の収集及び発信をすることで、地域活性に繋がる手段とします

##### c. 体験型プログラム等を絡めた観光集客プラン構築

体験型を絡めたツアー造成などを構築する取り組みを行い、唐津の魅力を引き出します

#### ⑦ WEBによる最新情報発信

##### a. ホームページによる店舗・イベント情報及び新着情報の発信

発信目標値：年間イベント情報発信数／130件 新着情報発信数／70件

##### b. 協会独自の情報更新によるアクセス数の増進

ユーザー目標値：年間370,000人

##### c. ショート動画による興味喚起

当協会と早稲田佐賀中学校・高等学校生徒との連携事業：観光施設・飲食店等の動画配信を行うことで、同年代に共感を抱かせ唐津の認知度を上げることに取り組みます

##### d. SNSによるイベントと会員情報及び花の開花状況の発信

イベント情報と開花状況等を発信することで観光集客増加に取り組みます

##### e. 体験コンテンツ紹介WEBサイトへの情報掲示

⑧ WEBによる情報発信【情報発信元を選び効率よく唐津の情報を発信】

訪日旅行者に向けて情報発信するWEBマガジンサイトにて、多言語での唐津記事の情報発信を行うことで観光集客増加を目指します

(2) 冊子紙媒体等情報発信

唐津市・玄海町に来られたお客様への観光案内マップ及び飲食店等の冊子を制作し、観光客の利便性と回遊性を高め満足度を上げます。

また、唐津くんち等イベント時のポスターを制作し情報発信を行います。

制作物種類	取組内容	部数及び配布先	目的	
道案内冊子 【マップ】 【パンフレット】	「唐津観光パンフレット」 英語・韓国語・中国語 「唐津マップ」 英語・韓国語・中国語 主要観光施設 アクセス時間 等 「唐津サイクリングマップ」	105,000部 17,000部 80,000部 13,000部 5,000部	旅行会社 観光客 主要施設 道の駅 温泉施設 福岡 メディア	ターゲット ・唐津到着のお客様 お客様からのお問い合わせ等を基に、各地域の情報集約を行い、分析を加え適宜改良し利便性を向上させる
ポスター リーフレット ポスター チラシ 店舗紹介等チラシ パンフレット	唐津くんち 唐津くんち 相知くんち 呼子大綱引き 増田神社夏祭り 小友祇園祭 相知くんち 呼子大綱引き 唐津やきもん祭り 唐津窯元ツーリズム 辰野金吾・高橋是清解説 パンフレット	700部 5,000部 300部 400部 200部 300部 1,000部 2,000部 10,000部 10,000部 10,000部	旅行会社 主要施設 道の駅 温泉施設 福岡 メディア 参加店	ターゲット ・九州圏内 イメージアップ イベントへの集客 イベントの告知 観光集客とともに地元店舗への誘客を図る ターゲット ・唐津到着観光客 ・やきもの、建築 →ファン層

※花めぐりマップは、データで所有し、必要に応じ紙へ出力印刷するものに変更

※唐津のひいな遊びマップは、新たなwebメディア発信へ変更

2 おもてなし推進事業 【その他1】

(1) 観光誘致事業

a. 事業名 見帰りの滝を美しくする事業

目的 見帰りの滝周辺のアジサイランドにおいて、あじさいの剪定・枯枝伐採・土壌整備・水遣り・草刈り・害獣対策等年間を通じて行い、あじさいをきれいに咲かせることで、6月開催のあじさいまつりにおいて観光集客増加を目指し地域活性化を促します。

**b. 事業名 呼子イカすクリスマス事業**

期 間 11月下旬～12月下旬

目 的 冬の閑散期における誘客事業として、クリスマスツリー等お客様の楽しめるイベントを行い観光客の満足度を上げます。

協力団体 呼子朝市組合・唐津市

職員業務 案内看板設置及びツリー・門松の設置・撤去

成果目標 呼子のインパクトのある雰囲気作りを行い、メディア等がピックアップしてもらえ  
る情報発信をすることで、呼子の知名度アップを図ります。

**c. 地域協力事業 相知くんち推進事業**

期 日 10月第3土、日曜日

目 的 相知くんち開催のサポートとして、情報発信及び交通安全対策と観光案内を行います。

職員業務 交通誘導警備員・交通指導員配置・案内看板設置及び撤去  
観光客案内対応及び安全対策

成果目標 観光資源である地元伝統行事の継続を支援し、相知くんちをPRすることで観光集客  
4,000人を目標に地域活性化を促します。

**(2) 地域連携**

各地区に存在する観光資源のPR、地域伝統行事等を支援することにより、地域の発展と連携を図り、観光地としてのホスピタリティを涵養します。

また、地域との連携は不可欠であるため、広域的な見地から事業に取り組んでいきます。

**(3) 広域観光事業**

**a. 地域重点事業**

概要及び目的

- a. 媒体等を精査した唐津PR
- b. 地域活性に繋がる情報発信と気運発揚
- c. 体験型プログラム等を絡めた観光集客プラン構築

**b. おすすめ店本制作**

概要及び目的 唐津市内観光施設及び会員の各店舗の情報を掲載し、誘客と消費拡大に繋がります。

**c. 事業名 呼子観光客受入対策事業**

期 日 GW期間中

目 的 GW期間中の観光客増加対策として、道路幅とルートが限られる呼子地区においての交通渋滞緩和対策と観光客への臨時案内所の設置をします。

期間中は、大変多くの観光客が訪れるため、適切な案内業務を行い交通渋滞時間の軽減と鎮西・玄海等への回遊と消費活動の拡大を図ります。

協力団体 呼子町飲食業組合・呼子幹事会・唐津市

職員業務 案内看板設置及び撤去・臨時駐車場運営・観光案内・チラシ配布・シャトルバス運行

成果目標 交通渋滞時間の削減・交通安全対策・観光客の利便性を高めます。

d. 観光案内所運営事業（唐津・呼子）【観光情報集約及び対面・電話観光案内】

しつらえ直した唐津駅総合観光案内所の特徴をさらに活かすため、壁面を使った情報提供等最新かつ細やかな措置を講じ、英語・韓国語等の対応をスムーズに行える態勢を整え、国策である外国人観光客増へ向け、唐津・玄海の魅力発信を行います。

・唐津駅総合観光案内所 1名以上体制 年間延べ520人以上の人員配置

期 間	時 間	
GW期間中繁忙期	9時～19時	2名
11月1日～3日	9時～最大22時	2名
上記以外の平日	9時～18時	1名
上記以外の土日	9時～18時	2名

・呼子観光案内所 1名以上体制 年間延べ522人以上の人員配置

時 間	8時30分～17時30分
(12月31日、1月1日、2日の3日間は除く)	

職員業務 電話・対面対応・外国人観光客対応・観光資源及びイベント内容等の情報収集  
観光客行先データ収集（特産品・観光名所・交通機関・イベント）  
ポスターなどの掲示・配布

年間案内件数 唐津駅総合観光案内所 26,000件 電話対応4,000件  
呼子観光案内所 10,000件 電話対応3,500件

（案内所職員の配置については、業務に支障がないよう必要に応じて繁忙期  
その他を考慮し、唐津市との打合せのうえ適切な配置体制をとります）

3 収益事業 【その他3】

a. 事業名 唐津PR事業（商品販売・観光支援自販機・ツアー造成）

概要及び目的

- カレンダー制作等商品開発及び特産品等の唐津PRを推し進める
- 観光支援自販機設置台数を増やすことで手数料収入を増やし事業実施に取り組む
- ツアー及び体験プログラムの造成を行い、実施回数を増やすことで唐津の情報発信を強化

b. 事業名 村田英雄記念館運営（相知観光案内所）

目 的 地元出身である村田英雄を称え地域の立ち寄り拠点として記念館を運営し、相知地区の誘客資源と相知観光案内所としての機能を兼ねます。

職員業務 観光案内・村田英雄記念館運営・入館者受付・観光案内対応  
イベント対応（相知くんち・見帰りの滝を美しくする事業・山・川開き）

c. 事業名 名護屋城跡さくらと陣跡ウォーク

期 日 3月最終日曜日

目 的 鎮西地区の歴史・文化・自然の奥深さを満喫してもらい、唐津・鎮西の新規顧客の開発とリピーターの増加を目的とします。

職員業務 案内看板設置及び撤去・観光案内業務

協力団体 桃山天下市会・唐津市・肥前名護屋城歴史ツーリズム協議会他

成果目標 陣跡等観光資源の認知度アップと、鎮西地区道の駅での特産品販売において、休日売上3倍増の消費拡大を目指します。

d. 事業名 玄海町ウォーク

期 日 3月最終土曜日

目 的 ウォーキング愛好家及び観光客の増加と全域回遊による新たな魅力発見  
まち歩きコースの磨き上げを行い、玄海町への誘客に繋がります。

e. 事業名 玄海地域活性事業

目 的 玄海町の食と自然の素晴らしさを再認識してもらい、玄海地域への観光集客の増加を  
目的とします。

成果目標 玄海地域の魅力を広め、観光集客を図ります。

f. 事業名 あじさいまつり

期 間 6月初旬～下旬

目 的 相知町見帰りの滝周辺のアジサイランドにおいて、開催期間中あじさいの花と景観を  
楽しんでもらうこと、また、交通渋滞緩和対策を行いスムーズな観光ができる態勢を  
整えます。

協力団体 見帰りの滝割烹組合・唐津市他

職員業務 案内看板設置及び撤去・駐車場料金徴収員配置・交通警察員配置・観光案内所設置  
テント設置・チケット販売・シャトルバス運行・テレビ及びラジオ出演・土壌管理  
水遣り・あじさい剪定・美化清掃等

成果目標 観光客の安全対策と地域自然の景観整備を行い、相知地区の知名度アップを行い、  
リピーターを増やすことで25,000人の観光集客を目指します。

#### 4 管理費 【法人会計】

唐津の観光が浮揚し、消費循環が拡大するような仕組みを構築すること、また、円滑なる事業実施可能な人員体制をとり、効率的な協会運営を行います。

##### ※事務局組織図

##### ①【センターオフィス】

業務執行役	(全体総括)
事務局長	(事務総括・執行部補佐/空席)
事務局次長	(事務総括補佐・執行部補佐)
総務・経理課	(総務・経理)
情報戦略課	(広報チーム・唐津駅総合観光案内所)
営業企画課	(営業企画)

##### ②【地域オフィス】

地域情報戦略課  
(東部チーム：浜玉観光案内所・相知観光案内所)  
(西部チーム：呼子観光案内所)

##### ※事務費

- ・旅費交通費(管内旅費他)・印刷製本費(コピーカウント料)・通信費(電話・fax・送料)
- ・会議費(総会開催費用他)・負担金(佐賀県観光連盟負担金他)・光熱水料費(電気・水道)
- ・賃借料・家賃(コピー機リース料他)・什器備品・消耗品・雑費

令和2年度 一般社団法人唐津観光協会収支予算書

【継続事業1・2 その他1 その他3(収益事業) 法人会計】

経常収益

(単位 / 円)

科 目	R2年度	H31(R1)年度	差 異	摘 要	R2年度
<b>1.受取補助金</b>	<b>66,493,000</b>	68,169,000	-1,676,000		
(1)唐津市運営事業補助金	61,923,000	63,176,000	-1,253,000	唐津市観光課	61,923,000
(2)玄海町運営補助金	4,570,000	4,393,000	177,000	玄海町産業振興課	4,570,000
(3)(一社)佐賀県観光連盟補助金	0	600,000	-600,000	(一社)佐賀県観光連盟	0
<b>2.自主財源収入</b>	<b>26,686,247</b>	27,082,427	-396,180		
(1)会費	7,300,000	7,600,000	-300,000		
(内訳)				会費	7,300,000
(2)受取負担金	4,950,000	5,268,000	-318,000		
(内訳)				収益事業消費税・事務負担金他	4,950,000
(3)受取寄付金	21,000	50,000	-29,000		
(内訳)				あじさいまつり美化協力金	21,000
(4)事業収入	14,386,000	14,131,000	255,000		
(内訳)				村田英雄記念館	280,000
				あじさいまつり駐車場利用料	6,823,000
				さくらと陣跡ウォーク参加料(鎮西)	223,000
				玄海ウォーク/地域活性化事業参加料	290,000
				唐津PR事業(商品売上・自動販売機手数料)	5,420,000
				ツアー・ガイド手数料収入他	1,350,000
(5)雑収益	29,247	33,427	-4,180		
(内訳)				雑収益(受取利息他)	29,247
<b>3.経常収益合計</b>	<b>93,179,247</b>	95,251,427	-2,072,180		



経常費用

(単位：円)

科目	R2年度	H31(R1)年度	差異	摘要	R2年度
<b>1.【継続事業1・2】</b>	<b>11,368,000</b>	13,947,000	-2,579,000		
情報発信事業	(1) 観光宣伝推進事業	928,000	2,440,000	-1,512,000	
				キャンペーン&宣伝事業	928,000
	(2) 観光情報提供事業	10,440,000	11,507,000	-1,067,000	
				HPメンテナンス:WEBによるPR 観光マップ、パンフレット、ポスター制作	1,743,000 8,697,000
<b>2.【その他1】</b>	<b>14,730,000</b>	15,048,000	-318,000		
おもてなし推進事業	(1) 観光誘致事業	1,779,000	2,053,000	-274,000	
				相知くんち推進事業(相知) 見帰りの滝を美しくする事業 呼子イカすクリスマス事業	249,000 1,030,000 500,000
	(2) 地域連携事業	190,000	183,000	7,000	
				海・川・山開き (唐・相・浜・鎮・巖・七・肥)	190,000
	(3) 広域観光事業費	12,761,000	12,812,000	-51,000	
				地域重点強化策 PR/WEBマーケティング(観光情報へ組替) おすすめ店本制作 唐津観光資源開発費 呼子観光客受入対策事業 観光案内業務	942,000 0 1,200,000 530,000 380,000 9,709,000
<b>3.【その他3】</b>	<b>17,115,000</b>	18,147,000	-1,032,000		
収益事業				没後100年辰野金吾顕彰魅力アップ	0
				肥前名護屋城訴求催事新創造	0
				唐津サイクリングマップ	100,000
				唐津PR事業費(商品・自販機)	5,420,000
				着地型商品事業他	1,350,000
				村田英雄記念館運営	1,824,000
				さくらと陣跡ウォーク	400,000
				玄海ウォーク	437,000
				玄海地域活性事業	740,000
				あじさいまつり	6,844,000
<b>4.【法人会計】</b>	<b>52,993,000</b>	52,595,000	398,000		
(1) 役員報酬	0	5,590,000	-5,590,000	(専務理事廃止)	
(2) 役職者・職員給与	39,601,000	32,747,000	6,854,000		
				人件費(業務執行役設置)	39,601,000
(3) 事務費	11,644,000	12,258,000	-614,000		
				旅費交通費	213,000
				通信運搬費	892,000
				消耗什器備品費	700,000
				消耗品費	350,000
				修繕費	30,000
				印刷製本費	1,000,000
				燃料費(事業費に組替)	0
				保険料(事業費に組替)	0
				光熱水料費	1,091,000
				使用料及び賃借料	612,000
				地代家賃	1,872,000
				租税公課	4,083,000
				交際費	30,000
				雑費	771,000
(4) 会議費	348,000	600,000	-252,000		
				会議費	348,000
(5) 負担金	1,400,000	1,400,000	0		
				団体負担金	1,400,000
<b>5.投資活動の部</b>	<b>0</b>	51,000	-51,000		
				減価償却引当預金支出	0
<b>6.経常費用合計</b>	<b>96,206,000</b>	99,788,000	-3,582,000		
<b>7. 当期収支差額</b>	<b>-3,026,753</b>	-4,536,573	1,509,820		
<b>8. 前期繰越収支差額</b>	<b>3,026,753</b>	4,536,573	-1,509,820		
<b>9. 次期繰越収支差額</b>	<b>0</b>	0			

令和2年度一般社団法人唐津観光協会 【その他2】 受託事業予算書

(単位:円)

事業	予算額	摘要	
1.呼子昭和バス発着所	1,544,000		
受託収益	1,231,200	昭和自動車株式会社	
事業収益	300,000		
雑収益	12,800		
経常費用	1,544,000		
2.唐津くんち観光客受入環境整備業務	7,020,000		
受託収益	7,000,000	唐津市観光課	
雑収益	20,000		
経常費用	7,020,000		
3.浜崎祇園山囃子保存会館	3,585,000		指定管理者
受託収益	3,545,000	唐津市浜玉支所	
雑収益	40,000		
経常費用	3,585,000		
合 計	12,149,000		